

(1973年)

サッポロの次のシーズン、開幕戦のウァ
ルディゼールに驚異のW-CUP新鋭が出現し
た。スタートナンバー45番をつけ、大きな体の若
者、ピエロ・グロスである。

そのレースは、1位エリック・ハーカ
ー、2位、~~エバハルト~~・シュマルツェルで、決ま
ったと思われたレースだったが、お立ちの用
意が始まり、ピエロはゴールに飛び込
んで、ゴールは大混乱に陥った。

続く、マドンナ・ディ・カンピジョのスラロ

No.

ームにも、ピエリーノは、45番からスタート
トエニの復勝を、奪ってしまっただけであ
る、大型選手の登場として、注目されたが
技術系2種目の入場は、この二連勝によって
イタリアのスーパーエースのひとりとなっ

No.

トエニ、グロス二人のエースを持つドイツ
^{スロー}リッチームは、1973~~年~~1974、75の3シーズン
一気にチーム力を上昇させ、ワールドカップ
の主役の座を占めた。

“アバランチアスロー”と呼ばれた史上最強
チームの対抗できたのは、オーストリアのエ
ースハンサ^{その当時}ヒンターセアー、そしてインゲマ
ール・ステンマルクの2人だけ、孤高の王者
という状況が生れていった。

No.